

ライラック

第134号
甲府昭和高校
生徒指導部

平成30年4月7日



甲府昭和高校の生徒指導

生徒指導主事 前村 強

第三十五期生、二百四十名の新入生の皆さん、また保護者の皆様、甲府昭和高等学校への入学、誠にありがとうございます。

これから、新入生の皆さんはこの甲府昭和高校で三年間を過ごすこととなりますが、学校生活をより充実したものにするためには、まず精神的に高校生に成長することが求められます。中学校までの義務教育と高校とは、根本的に違いがあります。できるだけ早く自分自身で基本的な生活習慣を確立することが大切です。そこで、保護者の皆様も含め、甲府昭和高校の教育方針の内容に少々触れさせてもらいます。

本校は、校訓「自主創造」を掲げて教育活動を実践しています。「自主性」とは、自分で考え、自分で判断し、自分の意志と努力で自分の行動に責任を持って生きていくことです。「創造性」とは、新しいものを創りだしていく精神、自己の良いところを発見し、理解を深め、自己実現に努めて自らを創造することです。さらにこの校訓を受け、「さわやか教育」を推進しています。「さわやか教育」とは、「さわやかな服装・頭髮」「さわやかな挨拶」「さわやかな環境づくり」「さわやかな行動（五分前行動）」等を自発的に推進できる生徒の育成を目指したものです。校訓は、これから甲府昭和高校生として、学校生活を充実させる上で大変重要なものです。このことを、日頃から念頭に置き、高校生活のスタートを切ることを期待します。

生徒指導係では、本年度の指導重点として次の三項目に取り組みます。「さわやか教育の推進」、「学校安全の推進」、「教育相談体制の充実」です。

「さわやか教育の推進」に関しては、規範意識の向上、基本的な生活習慣の確立、さわやかな挨拶・服装・行動の定着を目指し、登校時の五分前遅刻指導や県下一斉マナーアップ

運動と連携した登校時指導も実施しています。「学校安全の推進（交通・防災・生活）」に関しては、警察署やPTA、地域の方々の協力をいただきながら、自転車安全通学指導や雨天時指導が該当します。その他にも、事前に交通事故や違反を防ぐための、取り組みも実践しています。ここ数年、自転車・バイク事故件数は横ばい傾向であり、「自分の安全を自分で守る」ためにも交通ルールの遵守を徹底する必要があります。また、携帯電話、スマートフォンは、登下校時の危惧管理上から校内への持ち込みを認めていませんが、昨今、SNSの不適切な利用が原因となる様々な問題も起こることから、持ち込みには届け出を義務づけ、規律ある使用、マナー遵守を徹底させて行きたいと思っております。

「教育相談体制の充実」については、保護者の皆様も包括したカウンセリングの実践等により積極的に取り組めます。例年、職員・生徒・保護者の学校評価を検証し、学校全体として取り組むべき生徒指導体制の継続を推進しておりますが、保護者の皆様にもこれらに対してはご協力を仰がなければなりません。よろしくお願ひ致します。

社会あるところに規範有り、です。他人に迷惑をかけないよう、楽しい学校生活・意義ある学校生活を皆さんと保護者・職員共に作り上げていきましょう。

本校の教育目標は、「真理を愛し、たくましく、心豊かな人間を育成する」です。さわやか教育を実践しながら、「これを学んだ、これができる、この力を持つている」の三つの自信の輪を広げ、生徒と職員が一丸となって知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指しています。

実践目標①高い知力をつけよう。
②旺盛な気力をもとう。
③強じんな体力を養おう。
④人間愛に生きよう。

創立三十五年目を迎え、これまでを振り返ると、あらためて、本校の先輩たちが残してくれた輝かしい実績を実感出来ます。是非、皆さんにも、この伝統を引き継いで欲しいと思います。

「校則」というと何かしらマイナス印象を持ちがちですが、「校則」は皆さん一人一人が快適な学校生活を送るための大切なルールなのです。ものの見方、考え方が変化し、価値観が多様化している現代だからこそ必要な、高校生が守るべき最低限の決まりであると思えます。それを実践出来ない人は、社会に出たからの集団生活も上手にやってはいけません。生徒の中には、しばしば、「自由にやりたい」等の権利の主張をして来る人もいます。しかし、自由とは本来、自律ある行動を取る事をいうはずで。

以上、ここまで述べた内容にそって本校の生徒指導の指針を以下にまとめます。

一、時間には余裕を持って行動しよう。

毎日ホームルームは八時三十分始まりです。さらに、その後朝学習が続きます。落ち着いてそれらに臨めるように、余裕を持って登校してください。五分前行動を守り、八時二十五分には校舎内に入ってください。

二、報告・連絡・相談を忘れずに。

例えば、家庭からの遅刻・欠席連絡は必ずお願ひしています。午前八時より八時十五分までに、担任の先生、または学年の先生にクラス、番号、氏名、更に、遅刻または欠席の理由をお伝えください。連絡がない場合は、担任から連絡が入ります。遅刻欠席に限らず、何かあった時には担任への一言を必ず行うようにお願ひします。

三、交通法規・ルールを遵守しよう。

ここ数年、自転車及び原付バイクの事故件数は横ばい傾向であります。事故に巻き込まれないためにも、一人一人の交通ルールを遵守する意識が大切です。本校では、傘さし運転の防止を踏まえ、全ての生徒にカッパの着用を義務づけています。また、携帯・スマホの「ながら運転」は改訂道路交通法違反であり、自転車でも加害者になることが、先頃の東京の女子大生の案件からも考えられます。このことから、本校では自転車保険への加入を奨励しています。備えあれば憂いなし。ご検討をお願ひします。

四、挨拶を励行しよう。

本校では創立以来、「さわやかな挨拶」を励行してきました。元気のよい、さわやかな挨拶は相手に好印象を与えるものです。挨拶をする相手は自分自身を映し出す鏡のような存在です。さわやかな挨拶を励行することで、自分を見つめ直すきっかけとしてください。

五、携帯・スマホのルールを守ろう。

前述したように、本校では携帯・スマホの使用を原則、禁止しています。ただし、登下校時の安全確保のために校内への持ち込みは認めています。持ち込む場合は、所定の届出書を提出して下さい。なお、授業等で使用する場合は、教師の指示のもと、使用を認めています。ルールを遵守して適切な使用を心掛けましょう。また、いわゆるSNSの非常識・不適切な利用、参加、投稿等は断固として行わないようご家庭でもご指導下さい。不適切な利用、投稿が発覚した場合は指導の対象となります。

六、貴重品の管理を徹底しよう。

貴重品については、学校内に不必要なお金や貴重品を持つてこないよう指導しています。貴重品の管理については、「生徒指導の手引」に詳細に記してありますのでご理解下さい。なお、個人ロッカーの鍵は各自で用意することとなっております。入学式当日、ロッカーの扉の形状等を確認の上、ご用意いただきますようお願いいたします。

七、ささいな事でも先生に相談しよう。

本校では、スクールカウンセラーによるカウンセリングを実施しています。生徒のみならず、保護者の皆様におかれましても、悩みを抱え込まず、気軽に相談していただきたいと思います。学校からHP等で告知いたしますので、ご希望の方は担当職員までご相談下さい。

保護者の皆様方には、「生徒指導の手引」を新入生オリエンテーション時に配布させていただきました。二、三年生においては、ご子息を通じて配布させていただきます。本校の生徒指導の方針・内容を保護者の皆様にご理解していただき、学校と家庭・地域とが連携する中で、健全な生徒の育成を目指しています。今後とも、保護者の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



校歌に

校歌

金田一 春彦 作詞
芥川 也寸志 作曲

一、紫に映ゆる 山脈(やまなみ)

いや高き 雪の霊峰
朝夕に眺め さやけき
わが甲府昭和高校

二、国原(くにばら)を大河流れて

甲斐の野は 豊かに富めり
幸多き 天地に我ら
集ひ寄り 学にいそしむ

三、富士の嶺は我らの理想

智を磨き 心をきたへ
わが道を 開きて進む
大いなる 人とならばや

四、富士川(ふじがわ)は 我らの鏡

よき友を 世界に求め
人のため 力尽くして
輝ける 明日を築かむ

♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪

本校の校歌について、作詞作曲者のお二人は、「校歌制定記念式典」の挨拶の中で次のように述べています。

♪ 作詞家 金田一春彦氏のご挨拶より ♪

「春の暮れ、本校の屋上に上ったとき、山なみが全部紫色に見え、その向こうに富士山が下方までさつと見えていました。それを思い浮かべながら作ったのが第一句の『紫に映ゆる 山脈／いや高き 雪の霊峰』です。二番までは簡単にできたのですが、三番と四番は校歌ですから少しかめしく作らねばと思ひ、校訓の『自主創造』や、本校の教育方針を讀んで研究し、その精神がうまく織り込めるかどうか、大変不安でした。」

よせて

できましたら、ずいぶん男っぽくなつてしまひ少し気がひけたんですが、功刀校長先生は、『それは古い考えで、今では男も女でも同じように教育してあるので大丈夫です』と言われました。芥川先生にすばらしい曲をつけていただき、本当にいい校歌になりました。」

♪ 作曲家 芥川也寸志氏のご挨拶より ♪
「皆さんの校歌はひじょうにユニークな校歌だと思います。それは、一番が四行しかないこと、それに学校の名前が一番にしかありません。こういう校歌は全国の小中高を通してないのではないかと思います。作曲するとき本校の美しい自然環境を心に描きましたがその詞が短いということでも少苦勞しました。」

私は校歌というものは儀式のとき硬くなつて歌うばかりでなく、時にはロマンチックに、時には勇壮活発にと、いろいろと姿を変えて歌つても差し支えないと思つています。ゆつくりとロマンチックに歌うと、まるでアメリカの西部にでもいるような気分になつてきます。もちろん、オーケス

美しく自分を染めあげてください

赤ちゃんのときは白
誰でも白
どんな人でも白
からだや心が
そだつて行くのといっしょに
その白を

美しく染め上げていく
染め上げていく
毎朝 目が覚めたら
きょうも一日
ウソのない生活を
おくりたいと祈る
夜 眠るときに

ふりかえつて その通りだったら
ありがとうとつぶやく
人にはやさしく 自分にはきびしく
これをつづけると
白はすばらしい色になる

トラで演奏してもいいでしょう。音楽というものはそんな風に、人間が生きていく上でどうしても必要なものなのです。」

本校の卒業式と離任式で歌われる校歌は、毎年非常に感動的なものとなつています。卒業生は三年間の万感の思いを込め、二度と同じメンバーで歌うことのない校歌を涙にむせびながら、母校の誇りを感じつつ大きな声で歌い上げています。離任される先生方は、本校での思い出に重ね合わせて最後の校歌を歌います。生徒も職員もその思いを受け止めるごとく、体育館に響きわたる声で歌います。校歌は、歌われて初めて命を吹き込まれるのです。

もうすぐ、新入生を対象に校歌指導が行われます。これまで歌い継がれてきた甲府昭和高校の誇りである校歌を声高らかに歌われることを期待しています。

ひとをいたわり 自分をきたえる

ひとをいたわり 自分をきたえる
これを重ねると輝きのある色になる
なにもかも忘れて ひとのために働く
汗はキモチよく蒸発し
くたびれても よろこびとなる
こんな日のひぐれには
母の言葉が耳にすきとおり
父の顔が目の中に
ゴムまりみたくは はずむ
生まれてきたからには
よき方向へすすめ
からだや心を大きくするには
よき道をえらべ
横道はごめんだ おことわりだ
いそがずに ちやくちやくと

サトウハチロー選詩集
『あすは君たちのもの』より

新入生の皆さんへ

高校生活に大きな憧れを抱いている君たちへ話しておきたいことがあります。高校は決して「楽しい」ところではありません。強いて言うなら「楽しくする」ところですが、「楽しく」は「らく」と書きますが、「らく」ではないのです。スポーツでも、勉強でも、何か「したいこと」を見つけて本気で取り組んでみて下さい。つらかったり、悲しかったり、汗を流し、涙を流した後に「楽しい」はやつてきます。何もしないで「つまらない」のは当然です。何か夢中になれるものを見つけて自分から楽しもうとしないと、三年間はあつと言う間に過ぎ去ります。

君だけの「したいこと」を見つけてやるチャンスです。しつかり探してください。人まねではなく、自分の頭で考えてください。もしかしたら高校で見つけた「したいこと」が一生の「したいこと」になるかもしれないのですから。今後の高校生活を充実させるも、させないも、君たちの心次第です。

編集後記

この生徒指導係だより『ライラック』は、本校の校花がライラック(事務室校長室前の植え込みに紫の可憐な花を咲かせています)であることから名づけられました。甲府昭和高校創立以来、百号を数える通信です。『ライラック』には、本校のスクールカラーである「紫」と、そのイメージから喚起される「清楚」という意味がこめられています。

この通信を、生徒指導係の現状や学校、生徒の様子を知る一助として頂ければ幸いです。保護者のみなさまのご意見を是非お寄せください。

